

予算決算常任委員会議事日程

平成29年12月12日（火）午後 1時30分開会

議事日程

- 第 1 補正予算議案の詳細説明
- 第 2 補正予算議案の全体質疑
- 第 3 補正予算議案の審査報告書について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（17名）

委員長	山 崎 道 夫	委員			
	赤 丸 秀 雄	委員		水 本 淳 一	委員
	廣 田 清 実	委員		高 橋 安 子	委員
	齊 藤 正 範	委員		村 松 信 一	委員
	昆 秀 一	委員		藤 原 梅 昭	委員
	川 村 農 夫	委員		高 橋 七 郎	委員
	長谷川 和 男	委員		川 村 よし子	委員
	小 川 文 子	委員		藤 原 由 巳	委員
	藤 原 義 一	委員		米 倉 清 志	委員

欠席委員（なし）

矢巾町議会委員会条例第19条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

町 長	高 橋 昌 造 君	総務課長兼 防災安全室長	山 本 良 司 君
企画財政課長兼 政策推進室長	藤 原 道 明 君	会計管理者兼 税務課長	佐 藤 健 一 君

住 民 課 長	浅 沼 仁 君	福 祉 ・ 子 ども 課 長	菊 池 由 紀 君
健 康 長 寿 課 長	村 松 徹 君	産 業 振 興 課 長	稲 垣 讓 治 君
道 路 都 市 課 長	菅 原 弘 範 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	村 松 亮 君
上 下 水 道 課 長	山 本 勝 美 君	教 育 長	和 田 修 君
学 務 課 長	村 松 康 志 君	社 会 教 育 課 長 兼 矢 巾 町 公 民 館 長	野 中 伸 悦 君
学 校 給 食 共 同 調 理 場 所 長	佐 々 木 忠 道 君	代 表 監 査 委 員	吉 田 功 君
農 業 委 員 会 会 長	高 橋 義 幸 君		

職務のために出席した職員

議 会 事 務 局 長	吉 田 孝 君	係 長	藤 原 和 久 君
主 任 主 事	渡 部 亜 由 美 君		

午後 1時30分 開会

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 会議に先立ち委員の皆さんにお諮りいたします。

本委員会の傍聴希望者には、委員会条例第17条第1項の規定により傍聴の許可をしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようでありますので、許可することに決定いたします。

ただいまの出席委員は17名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただいまから本日の予算決算常任委員会を開会いたします。

直ちに予算決算常任委員会の会議に入ります。

議事日程の報告

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

これより本日の日程に入ります。

日程第1 補正予算議案の詳細説明

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 日程第1、補正予算議案の詳細説明を行います。

本日は、付託を受けました議案第93号 平成29年度矢巾町一般会計補正予算（第8号）について、議案第94号 平成29年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について、議案第95号 平成29年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について、議案第96号 平成29年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について、議案第97号 平成29年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）について、議案第98号 平成29年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）についての6議案について議案の順序に従って一括して詳細説明を受けたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようでありますので、6議案を一括して説明を受けることにいたします。

また、補正予算案の詳細説明に当たっては、経常的な部分及び節等については、極力省略をし、特徴のある部分について重点的に説明を願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) ご異議ないようでありますので、そのように進めさせていただきます。

それでは、議案第93号 平成29年度矢巾町一般会計補正予算(第8号)の詳細説明を求めます。

藤原企画財政課長。

○企画財政課長(藤原道明君) 議案第93号 平成29年度矢巾町一般会計補正予算(第8号)の詳細について説明いたします。

5ページをお開き願います。第2表、地方債補正となります。内容は、変更でございます。なお、変更につきましては、限度額のみの変更でございますので、補正前後の限度額の説明をさせていただきたいと思っております。

起債の目的、一般廃棄物処理事業、補正前限度額2億3,760万円、補正後限度額2億3,690万円、以下同様の順番で説明させていただきます。

道路整備事業4億8,500万円、4億7,510万円、消防防災施設整備事業1,570万円、1,450万円、臨時財政対策債4億4,010万円、4億3,676万8,000円、緊急防災減災事業5,120万円、4,260万円。

次に、事項別明細によりまして説明いたします。13ページをお開き願います。今回の歳入補正につきましては、後ほど歳出で説明いたしますが、障害児児童手当に関しましては、対象者の増によるもの、また保育所関係につきましては、対象者の増と処遇改善に伴う事業費増の財源として補正をするものでございますし、人件費の増が後ほど出ますので、そちらに伴う財源としての補正がございます。また、それ以外につきましては、年度末歳入見込みによる増減が主なものとなっております。

説明に当たりましては、款、項、項の補正額の順で行います。

それでは、歳入1款町税、1項町民税4,015万6,000円、2項固定資産税3,649万6,000円、3項軽自動車税575万2,000円。以上3つにつきましては、年度末見込みによる増となります。

なお、法人町民税につきましては、現時点で見込額を確定できないということで3月の補正に計上する予定でございます。

続きまして、12款使用料及び手数料、1項使用料3万9,000円、13款国庫支出金、1項国庫負担金、ページを返していただきまして、補正額5,144万8,000円。2項国庫補助金609万9,000円。

14款県支出金、1項県負担金2,198万9,000円。2項県補助金、ページを返していただきまして、補正額△386万円。3項委託金△9,000円。

17款繰入金、2項基金繰入金5,739万8,000円、人件費増等に伴う財源としての計上でございますが、これによりまして、年度末基金残高見込額は12億4,185万6,000円となる見込みでございます。

続きまして、19款諸収入、4項雑入2,094万6,000円、20款町債、1項町債△2,373万2,000円、こちら一連全て年度末執行見込みによる減額となります。

続きまして、歳出にまいります。21ページをお開き願います。今回の歳出補正の主なものですが、人件費につきましては、人事院勧告による増及び職員の新陳代謝による減によるものとなっておりますし、障害児福祉事業、児童手当給付事業は、対象者の増によるもの、また保育委託事業、認定こども園施設型給付事業は、対象者の増と処遇改善によるものとなっております。ほかは、年度末執行見込みによる増減となっております。説明に当たりましては、款、項、項の補正額の順で行います。

それでは、歳出、1款議会費、1項議会費60万8,000円。

2款総務費、1項総務管理費、ページを返していただきまして、補正額は1,362万4,000円。続きまして、2項徴税費225万2,000円。3項戸籍住民基本台帳費△8万円。4項選挙費16万2,000円。5項統計調査費、ページを返していただきまして、補正額9万9,000円。

3款民生費、1項社会福祉費、ページを返していただきまして、補正額3,613万6,000円。2項児童福祉費、一番下のところになります。1億412万2,000円。

ページを返していただきまして、4款衛生費、1項保健衛生費、補正額は2,716万9,000円です。なお、ここにつきましては、新規事業ございますので、説明させていただきます。説明欄の1、上から6行目に当たります。健康チャレンジ事業委託料というものがございます。こちらにつきましては、先日も私この場でお見せしましたけれども、職員が自費購入しました活動量計と、それからこの事業で導入しようとしております体組成計を用いまして、タニタの健康管理サイト、からだカルテというクラウド上にある健康管理サイトでございますが、そちらにデータを蓄積して、身体活動量の見える化の仕組みをつくる事業ということで予算計上したものでございます。

なお、既に体組成計につきましては、タニタの協力で無料で今設置して利用しているという状況でございます。

それから、下のページのほうに、予防接種事業の増ということで、インフルエンザ等のものを新たに計上しておりまして、年度末執行見込みとして補正をするということになってございます。

続きまして、2項環境衛生費42万3,000円、5款労働費、1項労働諸費28万7,000円、ページを返していただきまして、6款農林水産業費、1項農業費、さらにページを返していただきまして、補正額△1,346万4,000円。

7款商工費、1項商工費234万円。

8款土木費、1項土木管理費1万9,000円。2項道路橋梁費、ページを返していただきまして、補正額2,523万5,000円、こちらの中の3目道路新設改良費の中に矢巾スマートインターチェンジ整備事業の増とございますが、こちらにつきましては、全体としては増になっておりますが、基本的にはこのスマートインターチェンジ関係についての組み替えが主となっているものでございます。続きまして、3項河川費270万円。4項都市計画費277万7,000円。ページを返していただきまして、5項住宅費330万1,000円。

9款消防費、1項消防費123万4,000円。

10款教育費、1項教育総務費365万9,000円。ページを返していただきまして、2項小学校費160万6,000円。3項中学校費208万2,000円。4項社会教育費△427万5,000円。5項保険体育費、ページを返していただきまして、補正額70万6,000円。

以上で議案第93号 平成29年度矢巾町一般会計補正予算（第8号）の詳細説明を終わります。よろしくお願いたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） これで議案第93号 平成29年度矢巾町一般会計補正予算（第8号）の詳細説明を終わります。

次に、議案第94号 平成29年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）についての詳細説明を求めます。

浅沼住民課長。

○住民課長（浅沼 仁君） それでは、議案第94号 平成29年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の詳細についてご説明いたします。

説明は、前例同様とさせていただきます。

事項別明細書11ページをお開き願います。歳入でございます。3款国庫支出金、1項国庫

負担金、補正額900万円、7款共同事業交付金、1項共同事業交付金、補正額600万円、それぞれ説明欄記載のとおりでございますが、こちらにつきましては、歳出の補正に合わせた財源の補正でございます。

それでは、歳入を終わりました、15ページ、歳出をお開き願います。歳出2款保険給付費、2項高額療養費、補正額1,500万円、説明欄記載のとおりでございます。こちらは、年度末の事業の増額見込みということでの計上でございます。歳入は、これらの財源となっているところでございます。

以上をもちまして、議案第94号 平成29年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)の詳細説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) これでは議案第94号 平成29年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)についての詳細説明を終わります。

次に、議案第95号 平成29年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)についての詳細説明を求めます。

村松健康長寿課長。

○健康長寿課長(村松 徹君) 議案第95号 平成29年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)の詳細をご説明いたします。

説明に当たりましては、前例同様とさせていただきます。

事項別明細書11ページをお開き願います。歳入、1款保険料、1項介護保険料646万円。

4款国庫支出金、2項国庫補助金53万4,000円。

6款県支出金、3項委託金7,000円。

10款諸収入、3項雑入86万1,000円。

続きまして、15ページをお開き願います。歳出になりますが、1款総務費、1項総務管理費96万2,000円。3項介護認定審査会費は7,000円の財源更正となります。

2款保険給付費、1項介護サービス等諸費20万円。ページを返していただきまして、16ページとなります。2項介護予防サービス等諸費667万4,000円。

続きまして、17ページをごらん願います。3款地域支援事業費、2項一般介護予防事業費2万1,000円。3項包括的支援事業、任意事業費5,000円。

以上をもちまして、議案第95号 平成29年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)の詳細説明を終了させていただきます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) これでは議案第95号 平成29年度矢巾町介護保険事業

特別会計補正予算（第2号）についての詳細説明を終わります。

次に、議案第96号 平成29年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についての詳細説明を求めます。

浅沼住民課長。

○住民課長（浅沼 仁君） それでは、議案第96号 平成29年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の詳細説明についてご説明いたします。

説明は、前例同様とさせていただきます。

それでは、事項別明細書9ページをお開き願います。歳入でございます。1款後期高齢者医療保険料、1項後期高齢者医療保険料、こちらの保険料につきましては、増額分、こちらを歳出のほうの補正に回しまして、そのまま広域連合のほうに納付するということとなります。額は678万1,000円でございます。

3款繰入金、1項一般会計繰入金、こちらにつきましては、保険料の増に伴いまして、それに対応する保険基盤安定負担金の減額となるものでございまして、一般会計のほうに収入したものを後期高齢者医療特別会計のほうで収入して、歳出のほうで補正をするものでございます。額は84万2,000円の減となっております。

それでは、歳出に移ります。13ページをお開き願います。歳出2款広域連合納付金、1項広域連合納付金、こちらにつきましては、歳入のそれぞれ保険料、それから基盤安定負担金、合計したものの、補正額593万9,000円を広域連合に納付することとなります。

以上をもちまして、議案第96号 平成29年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の詳細説明を終わります。

よろしくお願いたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） これで議案第96号 平成29年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についての詳細説明を終わります。

次に、議案第97号 平成29年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）の詳細説明を求めます。

山本上下水道課長。

○上下水道課長（山本勝美君） 議案第97号 平成29年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）の詳細についてご説明いたします。

なお、説明は、補正予算明細書で行いますので、6ページをお開き願います。平成29年度矢巾町水道事業会計補正予算明細書（第2号）、款、項の特筆する事項の説明いたします。

収益的収入及び支出の収入ですが、1款水道事業収益、こちらの補正予定額は28万円でございます。1項営業収益、内訳でございますが、こちら一般会計の児童手当の負担になるものでございます。

次に、支出ですが、1款水道事業費用の補正予定額は△183万2,000円です。主なものとしまして、1項営業費用につきましては、11月29日、全員協議会でご説明申し上げております東部浄水場の監視員、こちら非常勤職員4名の労働基準監督署より指導を受けたものについて給料、通勤手当、健康診断の委託料等を増額するものでございます。また、4項の総係費につきましては、補正予定額△518万1,000円でございます。こちらは、常勤職員の人事院勧告及び人事異動による給与、手当によるものでございます。

次に、8ページをお開き願います。資本的収入及び支出の支出ですが、1款資本的支出の補正額は21万8,000円です。こちらは、1項建設改良費の第三次拡張事業費用でございまして、こちら常勤職員2名の人事院勧告による給与、勤勉手当等の増でございます。

以上で議案第97号 平成29年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）の詳細説明を終わります。よろしくお願いたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） これでは議案第97号 平成29年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）の詳細説明を終わります。

次に、議案第98号 平成29年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）の詳細説明を求めます。

山本上下水道課長。

○上下水道課長（山本勝美君） 議案第98号 平成29年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）の詳細についてご説明をいたします。

なお、説明は、補正予算明細書で行いますので、8ページをお開き願います。平成29年度矢巾町下水道事業会計補正予算明細書（第2号）、款、項の特筆する事項を説明いたします。

収益的収入及び支出の収入ですが、2款農業集落排水事業収益、こちらの補正予定額は2万5,000円です。内訳ですが、財産収入といたしまして、間野々浄化センターに民間の業者が使用料として貸し出しする収益を計上してございます。

次に、支出ですが、1款公共下水道費用、こちらの補正予定額は16万円です。内訳でございますが、1項営業費用、こちら総係費で人件費となるものでございます。常勤職員1名、人事院勧告、給与、手当の分でございます。

次に、2款農業集落排水事業費用、補正予定額は170万2,000円です。主なものとしたしま

して、1項営業費用、こちら処理場費の手数料でございます。間野々、不動、西郷の浄化センターにかかわる処理場の汚泥のくみ取り運搬料、こちらの増となっております。

10ページをお開き願います。資本的収入及び支出の支出ですが、1款公共下水道資本的支出、こちらの補正予定額は597万1,000円です。こちらにつきましては、1項の建設改良費、管渠の建設の改良費でありまして、こちらにつきましても、常勤職員2名の人事院勧告、給与、手当等の増減となっているものでございます。また、13節の委託料、こちら設計委託料となっておりますが、こちら医大関連の管渠の設計委託料になっているものでございます。

以上で議案第98号 平成29年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）の詳細説明を終わります。よろしくお願いたします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） これ以て議案第98号 平成29年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）の詳細説明を終わります。

日程第2 補正予算議案の全体質疑

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 続きまして、日程第2、補正予算議案の全体質疑を行います。質疑の方法についてお諮りいたします。

質疑は、提案された議案の順に従って行います。それぞれの会計について歳入歳出を一括して行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようでありますので、そのように進めてまいります。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページ数をお知らせ願います。また、質疑のルールであります。回数制限は設けない一問一答方式といたしますが、簡単な質疑の場合は、何点かまとめてもよいことといたします。

それでは、初めに、一般会計補正予算の質疑を行います。質疑ございませんか。

昆秀一委員。

- （昆 秀一委員） 21ページの広報広聴事業の防災ラジオの件で、行政番組運営事業を検討されていると思うのですが、この番組の検討の進捗状況をお伺いします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

- 企画財政課長（藤原道明君） 番組の検討の進捗状況ということですが、先月までに委員会の中で番組枠について検討いたしまして、今後番組の名称なり、それから番組のそ

れぞれの詳細なりを詰めていこうという段取りになってございます。

なお、枠組みにつきましては、月曜日から金曜日まで15分ずつ、それから翌日には再放送をします。時間帯につきましては、本編のほうは、夜の7時から、再放送は朝の6時半からということで検討しております。これは、委員会としての一つの見解でございましたので、最終的にそれを受けて、我々のほうで委員会どおりにやるのか、何らかの事情でちょっと変えていくのかということは、決定までは至っておりませんが、基本的には、その線に従っていこうということで、今回の補正予算額につきましても、月曜日から金曜日まで15分間ということでの予算を計上しております。

なお、番組の内容につきましては、非常に多くのアイデアが出まして、今現在まで有線放送さんでやっているものをさらに発展させたような内容とか、あとは人に焦点を当てて、リレーしながら、ご紹介を受けながら、昔テレビで笑っていいともとかありましたけれども、ああいったもののイメージで矢巾町の特徴的な方や特徴的な取り組みを紹介していったらいいのではないかとというふうな番組のアイデアも一つとして出ておりますし、一番あれなのが、やはり学校を訪問して、子どもたちのいろんな声を届けたいなと思っております。それから、学校の行事等です。今までも作文を読み上げたりというふうなことはあったのですけれども、もう一段進めて、何かただ聞いているだけではなくて、もう少し楽しい状況が伝わるようなものにしたいというふうなご意見もありましたので、我々としてもぜひそういう方向で番組づくりをしたいなというふうに考えております。

以上です。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） その決定はいつまでにされて、町民の意見というか、そういうふうなのは、いつ聞くのでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） 決定につきましては、2月の放送開始に合わせたいので、年明けには、決定しておく必要があるなと思っております。

なお、町民の方の意見ということなのですが、今回とりあえず立ち上げといたしましては、そもそもこの委員会に一般町民の方も入っておりましたので、そういった方々の聴取者というのですか、リスナーのご意見をいろいろいただいておりますので、そういったことで今回はまず取り組んでみたいと思います。

今後につきましては、いろいろな形でモニターを募集したりしまして、そういったモニタ

一の方々のご意見を参考にさせていただきながら番組をさらに練り上げていくというふうな考え方でおります。とりあえず時間もないということもありまして、まずは立ち上げてみま
すというところでございます。

以上です。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 続いて、川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 今の防災ラジオの件で同じ項目なのですがすけれども、住民税非課税の方
が無料でいただいたということなのですから、今後聴取料というか、そういうふうなのは発生する
のでしょうか、どのようになっているのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） 番組につきましては、財源は基本的に町の予算、それとでき
れば広告、ラジオCM、CMを募集しまして、その分うちの持ち出しが減るようというふ
うな考え方でいますので、一般のラジオ放送と同じです。聞く方に関しましては、無料です。
一切発生しません。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村よし子委員、一般質問で赤丸議員がかなり詳し
く聞いていて、今の質問の中身も答弁にありましたので、その辺は何のために一般質問して
いるかよくわからない、町民の立場からいくと、ちょっと同じ議場において、そういう質問さ
れると、こちらもちょっと困惑するのですが、その辺はちゃんと調べてやってください。

そのほかございますか。

藤原由巳委員。

○（藤原由巳委員） ただいまの防災ラジオに関連してでございますが、私は賛成するほうの
立場からちょっと質問させていただきたいわけですが、今のお話にありますように、
毎日月曜日から金曜日まで15分の番組をつくるということになりますと、相当な人材と申し
ますか、それなりの人材確保が必要と思われるわけですが、この辺のところは、今
現在は有線放送がその任を担っているわけですが、同じような体制を今度新たに立ち上げら
れる考えなののでしょうか、その辺のところをちょっとお伺いいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） 番組製作のための人的対応というふうに伺いましたけれども、
我々のほうとしても、今企画財政課のほうでこれを担当しておりますが、現在の体制のまま
では不可能だというふうに考えております。それで、できれば、まだ未決定なので、はっき
り確定的なことのお話はできないのですが、できれば経験のあるスタッフの方を囑託

職員なりの処遇でお願いして、番組製作とか、現地取材とか、相当な部分をその方にお願いしつつ、あとはラヂオもりおかさん、それとラヂオもりおかさんがもしかすると、現場上の番組製作という意味で下請に出したりすることもあるそうですけれども、そういった方々と協力しながらやっっていこうというふうな考え方で現在はおります。

なお、経験者の方の囑託という点につきましては、新年度予算での対応を考えてございます。

以上です。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

廣田委員。

○（廣田清実委員） 26ページの国民保養センターの管理委託費773万5,000円、ふえているのですけれども、この内訳を。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） ただいまのご質問にお答えいたします。

保養センターの指定管理料の増につきましては、指定管理料、当初定めたときから、かなり月日もたっておるわけですが、上下水道料金がまず値上がりしたということで、その分が150万円、残りの部分につきましては、ほぼ人件費ということでございますが、人件費につきましては、最低賃金の1時間当たりの738円ということになっていたわけですが、昨年度から750円に見直しをしたということが影響しておるところでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 廣田委員。

○（廣田清実委員） わかりました。今の。あと28ページの健康チャレンジ事業委託料なのですけれども、対象者と、それから単年度事業ではないと思うのですけれども、その内訳と、それから対象者の説明をお願いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） ただいまのご質問にお答えいたします。

今回の健康チャレンジ事業につきましては、職員を対象に行っておりまして、対象50名ということで既に体組成計をつけながら日々の健康チェックを行っているところでございます。

なお、その内訳、経費でございますけれども、体組成計等の健康測定機器類あるいは初期費用の部分が250万9,800円ということで全体74.6%でございます、それ以外にサポート費用とか、さまざまセミナーも開催しながら実際実践につなげるということでソフト事業の部

分が85万5,900円ということで25.4%という内訳になっております。

事業年度につきましては、新年度以降につきましては、今回は職員ですが、新年度については、町民の方を対象とした楽しく、無理なく健康食習慣、運動習慣を改善するような取り組みを考えておるところでございます。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） ページ数で25ページの老人保護措置事業の増ですけれども、保護措置委託39万円載っているのですけれども、それと介護予防事業の増、軽度生活援助事業委託料、ちょっとそここのところを説明してほしいのですけれども、これは委託ですので、2点目のところは包括支援センターではないかなと思うのですけれども、1点目のところは、何人ぐらいでどういうところに委託されているのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） ただいまのご質問にお答えいたします。

まず1点目の老人保護措置委託料の増でございますが、これは矢巾町から養護老人ホーム、玉寿荘という盛岡市玉山区にあります養護老人ホームに2名の方が入所されておまして、特に入所者が増加したわけではございませんけれども、月々老人保護措置費というものを施設のほうに委託料としてお支払いしているわけですが、これまでの支出、当初予算でいきますと、月当たり36万8,000円の当初予算額だったのですが、現在の執行状況につきまして月当たり、1人当たり39万9,720円ということで、これは毎年単価改定がございまして、老人保護措置費が施設ごとに県のほうから定められているわけで、そちらの単価改定による増となっております。

続きまして、軽度生活支援事業の増でございますが、こちらはシルバー人材センターのほうにひとり暮らし老人あるいは老人夫婦世帯の方で除雪の支援を行うというもので、その分を増額しておるところでございます。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 先ほどの質問で、除雪というのは、ひとり暮らし大体、高齢者世帯もあります、2人暮らしもあるのですけれども、ひとり暮らしだけなのでしょうかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） ただいまのご質問にお答えいたします。

こちらは、ひとり暮らしに限らず老人夫婦世帯ということも今申し上げましたけれども、いずれ高齢者のみの世帯を対象としております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

小川委員。

○（小川文子委員） 先ほどの健康チャレンジのことでちょっと私も質問がありますが、いわゆる項目というものがどういうものを対象、検査項目といいますか、対象項目をちょっと教えていただきたいのと。

直接は関係ございませんが、薬王堂さんがお店でいろんな検査をサービスを提供するような話も以前伺ったことがありますけれども、もしあわせてそういうこともお知らせできるのであれば、お願いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） ただいまのご質問にお答えいたします。

この体組成計でございますが、主に体脂肪とか、そういう血液検査は行っているわけではございませんので、コレステロールとか、そういう通常の検診のような部分とはまた異なりますけれども、はだしの状態で足にアルコールを塗って乗るだけで体重と、あとは体組成ということで脂肪分だとか、そういった部分が、骨密度とか、そういう部分が測定される仕組みになっておるところでございます。以上、お答えといたします。

大変失礼いたしました。薬王堂さんとの連携につきましては、薬王堂さんのほうでは、カードをつくって、商品の買い上げのたびにポイントがつくサービスがあるわけでございまして、そちらのサービスと連携する中で新年度において、町民を対象にした健康づくりと薬王堂さんのポイントをどのような形でコラボレーションできないかなというところを現在検討しておるところでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） 24ページの高齢者及び障害者に優しい住まいづくり推進事業の内容につ

いてお知らせください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池福祉・子ども課長。

○福祉・子ども課長（菊池由紀君） お答えいたします。

障害者の方のお風呂場の改造に伴う補助を支出したものでございます。

お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村よし子委員。

○（川村よし子委員） ページ数で27ページ、児童福祉施設費の中の町立保育園の増、一般職員の給与が減になっていて、そして臨時職員が増になっているのですけれども、報酬が増になっているのですけれども、ここのところをちょっと説明をしていただきたいと思います。

それから、2点目は、同じ児童福祉施設費の中で、町立保育園、それから保育委託事業と比較して認定こども園の増が多いですけれども、そのところもちょっと説明していただきたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 山本総務課長。

○総務課長（山本良司君） それでは、私のほうからは、一般職員給与費の減、54万7,000円の内訳という形のものをご説明申し上げます。

こちらにつきましては、人勸または給与改定で普通はプラスの補正をお願いしているわけですが、こちら煙山保育園に職員、こちら休職中でございます、そちらの減に伴う部分が多くてマイナス54万7,000円という形で人勸の部分はふえた。でも、減る分が多くて54万7,000円と、三角という形のこちらは数字になっておるところでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池福祉・子ども課長。

○福祉・子ども課長（菊池由紀君） それでは、一般非常勤、町立保育園の運営事業の一般非常勤の職員の報酬の増でございますが、煙山保育園で今年度、昨年度より受け入れる園児の数がふえたものに伴いまして、非常勤の職員の配置を増加したものでございますので、一般非常勤保育士1人、そしてまた、当初見込んでいたものより1人増加、そして調理員の増、そしてパート職員2人の増ということで計上したものでございます。

2つ目の保育委託事業よりも認定こども園が金額が違うということでございますが、それぞれ今年度保育士の処遇改善が行われておりまして、その分と、あとは対応している園児の数でございます、それぞれ人数により配分した数でございますので、その違いによるものということをお答えといたします。

- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村よし子委員。
- （川村よし子委員） ちょっとお聞きしますけれども、認定こども園は、総務省の管轄ですよ、ではなかったですか。保育園は、厚生労働省なのですからけれども、厚生労働省の管轄の保育士と認定こども園の保育士の待遇改善が違うのでしょうかお伺いします。それとも人数で、今の課長の答弁では人数でという話だったのですけれども、その辺をお願いします。
- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池福祉・子ども課長。
- 福祉・子ども課長（菊池由紀君） 処遇改善につきましては、それぞれ認定こども園、そして保育所ともに同じ条件のもとで行っておりますが、今年度行った処遇改善につきましては、副主任級の園長、主任保育士を除いた全体の3分の1の数に当たる職員を対象に月額4万円ほどの処遇改善が行われていますが、個人にいく、そのままいくものということではなく、園のほうに給付されるものでございますし、職務、分野別、それぞれチームリーダーになる方に関しましては、園長、主任保育士除き、全体の5分の1程度に月額5,000円ほどの加算がなれるということで、認定こども園、そして普通の保育所、それぞれ条件が同じで処遇改善が今年度なされましたことにお答えいたします。
- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。
齊藤委員。
- （齊藤正範委員） 保育園の園児が期の途中で受け入れたという園児が何名おられるかわかれば、教えてもらいたいと思います。
- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池福祉・子ども課長。
- 福祉・子ども課長（菊池由紀君） ちょっと調べて後刻とさせていただきます。
- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。
藤原由巳委員。
- （藤原由巳委員） 6款農林水産業費についてお伺いします。ページ数は30、31、31が主です。3点まとめて質問します。
農業振興費における生産調整推進対策事業の増98万8,000円、この辺の内容をまずはお伺いしたいと。それから、その下にありますいわて地域農業マスタープラン実践支援事業の減803万1,000円ほど、この内訳。そして、その下にあります農地費のところでございますが、多面的機能支払長寿命化交付金△838万5,000円、これらについてお伺いします。
- 予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 稲垣産業振興課長。
- 産業振興課長（稲垣譲治君） ただいまのご質問にお答えします。

1点目ですけれども、こちらの生産調整の対策事業費につきましては、当初申請された金額で計算をしてみまして、国のほうから満額回答が得られなかったということで、その不足分がこの98万8,000円になります。その後、県のほうにお願いをいたしておきまして、本日この分が、この98万8,000円より、逆にもうちょっと上乗せでいただけるということの通知が本日届きましたので、こちらにつきましては、農家の皆さんに満額でお支払いするということで、今回12月中に払いますので、補正をしていただいた上で計画どおり満額農家のほうには支払いたいということで補正を出させていただいております。

それから、2点目、いわて地域農業マスタープラン実践支援事業の減ですけれども、こちら当初3件事業を計画しておりました。冷蔵庫、それからルームスプレーヤーと野菜の定植機とかということで用意していたのですが、残念ながら冷蔵庫以外のところが辞退するというので辞退をされたために、その辞退の分の減額となります。

それから、3点目、多面的機能支払金ですが、これは長寿命化交付金につきまして、これは当初から国のほうで満額支給できないだろうというような話で進んできております。当初のこれが87%ほどの支給率に減ったがための長寿命化の分が満額回答ではなかったということで国のほうから減額で支給された分の減額措置になります。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

藤原由巳委員。

○（藤原由巳委員） 確認の意味だけなのですが、冒頭ありました生産調整推進対策事業の補助金、年内に交付になるということでしたが、最終的にはめどはいつになりそうでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 稲垣産業振興課長。

○産業振興課長（稲垣譲治君） 振り込み日につきまして、現在手元に資料がございませんので、後刻ご報告いたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですね、後刻で。

それでは、そのほか、昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） 25ページの障害児通所増千幾らありますけれども、この要因についてどうお考えでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池福祉・子ども課長。

○福祉・子ども課長（菊池由紀君） ただいまのご質問にお答えいたします。

障害児のサービスを利用する方が昨年度よりもそれぞれ児童発達支援のところであれば、

月当たり三、四人ふえておりますし、放課後デイサービスが、事業所そのものもふえておりますことによる利用する方がふえているというところで見込んだものでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほか、水本委員。

○（水本淳一委員） 35ページ、河川改良事業ですけれども、この270万円ふえておりますけれども、これについて説明をお願いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） ただいまのご質問にお答えをいたしたいと思います。

この増の270万円は、あさあけの園のところ、町のほうに寄附していただいたところがございます、そこの側溝分の整備費用として計上させていただいております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

そのほかございますか。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） ページ数で38ページです。教育振興費、それから小学校と中学校の準要保護就学援助のところをちょっと説明していただきたいと思います。人数がふえたのか、それとも3月というか、入学前の準備金なのかどうかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松学務課長。

○学務課長（村松康志君） ただいまのご質問にお答えいたします。

小学校、中学校における準要保護就学援助費の増につきましてですけれども、このたび就学援助費の支給要綱を改正いたしまして、入学準備金、これに関しましては、やはり入学する前、つまり4月前に支給しなければ、本当の意味で役に立つものではないのではないかとということで要綱を改正いたしました。その分を見込みまして、小学校、中学校というところで小学校のほうは、およそ20名、新入生のうちの20名ほど、中学校のほうは新入生のうちの30名ほどを見込んで計上したものでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） 33ページ、南昌グリーンハイツ指定管理料の増の理由をお聞かせください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 稲垣産業振興課長。

○産業振興課長（稲垣譲治君） こちらにつきましては、今年度利用いたしました減免分の金額が内訳で、減免分として25万4,874円が減免分でございます。それから、ことし水漏れがあったということで休業いたしまして、そのときに漏水の調査をしてございます。これの調査費が38万8,800円という金額が内訳でございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

（「ありません」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ないようでありますので、これで一般会計補正予算の質疑を終わります。

次に、矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算の質疑を行います。質疑ございますか。

（「なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ないようでありますので、これで矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算の質疑を終わります。

次に、矢巾町介護保険事業特別会計補正予算の質疑を行います。質疑ございますか。

昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） 16ページと17ページにまたがるわけですけれども、一般介護予防事業の増、高齢者筋力向上トレーニング委託料がマイナスになっておるのですけれども、次の17ページでは、高齢者筋力トレーニングは、委託料は増になっているので、その理由をお聞かせください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） ただいまのご質問にお答えいたします。

高齢者筋力トレーニング事業がそれぞれ増、減とあるわけでございますが、こちらにつきましては、通いの場体操くらぶというものを現在シルバーリハビリ体操の普及のために行っている体操がございまして、そちらの分が増額の8万4,000円になりますし、あと減った10万円のほうにつきましては、当初高齢者向けのさわやかハウスで実施する筋トレでございますが、そちらについて当初1万円の講師委託料掛ける50回分を見込んでおったのですが、そちらが40回に減になったことによる減でございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

(「なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) ないようでありますので、これで矢巾町介護保険事業特別会計補正予算の質疑を終わります。

次に、矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算の質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) ないようでありますので、これで矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算の質疑を終わります。

次に、矢巾町水道事業会計補正予算の質疑を行います。質疑ございますか。

(「なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) ないようでありますので、これで矢巾町水道事業会計補正予算の質疑を終わります。

次に、矢巾町下水道事業会計補正予算の質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) ないようでありますので、これで矢巾町下水道事業会計補正予算の質疑を終わります。

これをもって付託を受けました補正予算6議案の全体質疑を終了いたします。

それでは、後刻ということで答弁を保留しておりました菊池福祉・子ども課長からお願いします。

○福祉・子ども課長(菊池由紀君) 先ほど齊藤委員よりご質問いただきました年度途中で受け入れた子どもの数ということでございますが、平成29年4月1日現在で矢巾町内の子どもさん、矢巾町に住民票を置くお子さんに関しまして1,005人で1号認定含めて、1号認定、幼稚園の部も含めまして1,005人でスタートしておりますが、12月1日現在で1,050人ということで45人ほど受け入れておりますが、町内の施設だけではございませんで、県内の施設にさまざま委託している状況もあります。また、町内の施設は、町内の施設にどれだけ町内のお子さんを受け入れたかに関しましては、2、3号認定、保育部門でございますが、4月に比べて39人ほど受け入れておりますことは、ふえております。ただ、出入りがありますので、純粹なということではございませんが、やめたところに入れていただいたりとか、さまざまな調整をしまして、4月現在より保育部門に関しましては、39人ほど増になっておりますことをお答えいたします。

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) 稲垣産業振興課長。

○産業振興課長（稲垣譲治君） 先ほど後刻とさせていただいておりました件についてお答えいたします。

現在12月27日振り込みを目指して事務を進めてございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 質問された方、それぞれよろしいですか。

それでは、これをもって付託を受けました補正予算6議案の全体質疑を終了いたします。

日程第3 補正予算議案の審査報告書について

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 日程第3、補正予算議案の審査報告書を議題といたします。

付託を受けました補正予算6議案に対する審査報告書の取りまとめであります。

お諮りいたします。

この後、休憩中に全員協議会室において補正予算議案の可否を含めて附帯意見等の取りまとめを行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議がないようでありますので、この後全員協議会室にご参集をお願いをいたします。

ここで暫時休憩といたします。

高橋町長ほか参与の方々には退席されて結構でございます。

午後 2時38分 休憩

午後 3時12分 再開

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 再開いたします。

ただいま委員各位から出されました表決を含めた附帯意見等を参考に補正予算審査に基づく報告書の草案を作成いたしました。

今からこの草案に対しましてご意見をお受けし、成案にしていきたいと思います。

ただいまからその草案を職員に朗読させます。なお、朗読は本文のみとさせます。

（職員朗読）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） このように取りまとめをいたしました。質疑ございますか。

(「なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) それでは、お諮りをいたします。

この報告書を成案といたしまして議長に提出することに決定したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) ご異議がないようでありますので、この報告書を成案として議長に提出することに決定をいたしました。

予算決算常任委員会に付託されました補正予算6議案の審査並びに審査報告書の作成の一切を終了いたします。

○予算決算常任委員長(山崎道夫委員) 以上をもちまして予算決算常任委員会を閉会をいたします。

大変ご苦労さまでございました。

午後 3時14分 閉会